



「夢や目標をもつことの強さ」と「人との出会いへの感謝」

校長 中熊 豊仁

「今日は10周走りました。」

「お話に来ました。入ってもいいですか。」

朝、休み時間、昼休みと、いろいろな子が校長室へやってきます。先日は、ピアノを習っている子たちに誘われ、音楽室や体育館で演奏を聴かせてもらいました。最初は少し照れた様子を見せながらも、真剣な表情で鍵盤に指をのせ、美しいメロディを奏でてくれました。「この曲を弾けるようになりたい。」という自分の目標に向かって日頃から懸命に練習に励んでいる姿が想像できました。

「ちょっと、相談があります。今、いいですか。」

一方で、悩み事相談もあります。中には、友だちとうまくいっていないから、どうしたらよいかという相談もあります。基本的には話を聴き、共感し、一緒に考えるようにしています。いじめが疑われる場合を除き、私から、こうした方がよいか、こうしなければいけないというようなことを言うことはありません。そのような悩みをもつことは、誰もが通る道です。その子が自分で考え、時にはうまく解決し、時には折り合いをつけられるような力を身に付けることが、社会で生きていくためには必要なことだと思うからです。何でも大人が手を貸してしまうことは、子どもの成長の機会を奪うことにもなります。子どもたちは、失敗を重ねながら、人との関わり方についても学んでいます。

毎日いろいろなことがあります。日によって、時期によって、子どもたちの姿は変わります。そんな時、どんなふうに関わるといいかなあと考えることを楽しむようにしています。ただ、やっぱり大切なのは、夢なり目標なりをもって、毎日を過ごしているかということだと思います。夢や目標に向かうということは、自分で考え判断しようとする、自らの心の主としての「自分」が心の中にあるということだと思うからです。そのようなことを考える中で、キャリア教育の一環として11月、5・6年生を中心に次の3名の方に講話をしていただきました。

- 岡澤 セオン さん ボクサー（東京・パリオリンピック出場）
- 田上 裕 さん 元サッカー選手（鹿児島ユナイテッドFC応援リーダー）
- 岩崎 弘志 さん アナウンサー（MBC南日本放送）

3名の方のお話に通じていたキーワードは、「夢や目標をもつことの強さ」と、「人との出会いへの感謝」でした。3名の方はそれぞれ、もともと、とがっていたり、いじめられたり、シャイだったりしたそうです。でも、それぞれの夢に触れるきっかけがあり、その夢を大好きになり、苦しいことがあっても、自分にできることを考えて努力したということ、そして、夢を追いかける中で、家族をはじめとした多くの方々に支えてもらったこと、そのおかげで今の自分があるのだということをお話してくださいました。



岩崎アナウンサーの話は全校児童で聴きましたが、「夢や目標がありますか。」という岩崎アナの問いかけに、多くの子どもが「はい。」と元気よく手を挙げました。遠い先の夢ではなくても、何か目標をもつこと、それに向けて努力することが大切であることを講師の方々は熱く語ってくださいました。「心の中にひびいたことは、『あきらめずに強く願ひ、努力すれば、必ず夢は叶う。』ということでした。」6年生の子どもたちの感想です。子どもたちにはしっかりと伝わったことと思います。

日々、成功も失敗も、いろいろな経験をしながら成長している子どもたち。人とのつながりについても学びながら、夢や目標に向かって進んでいるようです。

「記録達成に向けて〇周多く走りました。」「次は、〇〇という曲を弾けるようにします。」

「悩み、今のところ解決しました。」

夢や目標に向かう経験に無駄など一つもなく、成長の糧になっていることと思います。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

保護者や地域の方々が来校され、子どもたちの様子を参観していただきました。11月7日(木)には校区コミュニティ協議会・スポーツ推進委員の方々の御協力をいただきながら、1年生で昔遊び、6年生ではボッチャ体験を実施することができました。アンケートでいただいた御感想や御意見は、今後の教育活動に生かしていきます。



12名で参加した義弘公奉賛相撲大会



加治木町内小学校5校が参加した相撲大会が開催されました。錦江小か12名が参加しました。練習するたびに、上達していく子どもたちでした。成果はつぎのとおりです。早速、来年に向けて頑張ろうと気合が入っていました。子どもたちをサポートしていただいた「錦江小おやじ会」、そして保護者の皆様ありがとうございました。

団体戦 3位(2年西牟田さん・4年小澤さん・5年新井田さん)
個人戦 4年の部 優勝 小澤知依さん
5年の部 2位 新井田皇翔さん

錦江小PTAバザー「わくわくふれあいまつり」大盛況！！

天候にも恵まれ、大盛況となりました。各学年の出店では、商品がほぼ完売となりました。御協力ありがとうございました。また、おやじ会のみなさんには、出店だけではなく、子どもたちのために、イベント「逃走中」を企画していただきました。子どもたちにとって、心に残る楽しい一日となりました。事業部をはじめ、おやじ会・総務部のみなさまには、企画・運営と尽力いただき、本当にお世話になりました。子どもを中心に、地域・保護者の方々の交流が深められたまつりとなりました。ありがとうございました。



PTA教育講演会

11月9日(土)に、PTA教育講演会が開催されました。「鹿児島ユナイテッドFCの応援リーダーである田上裕氏に講演をしていただきました。たくさんの方々に参加していただきました。「子どもと一緒に話を聞いてよかった」「諦めなければ夢はかなう」など、自身の経験を踏まえてお話をしていただきました。来年度も講演会を行う予定です。御参加をお待ちしております。

12月の主な行事

3日(火) 児童集会
4日(水) 学級PTA(全学年)
5日(木) クラブ活動・食に関する指導(5年)
11日(水) PTA運営委員会・理事会
12日(木) 薬物乱用防止教室(5年)
あいあい号来校
14日(土) 土曜授業・持久走大会
16日(月) B校時

☆ 12/2(金)~14日(土)「校内人権旬間」

20日(金) 持久走大会予備日
22日(日) 第2回PTA愛校作業
門松・ミニ門松作り(家庭教育学級)
23日(月) B校時
24日(火) 2学期終業式
※ 給食なし(11:45下校予定)
27日(金) 仕事納め
31日(火) 大晦日





「夢や目標をもつことの強さ」と「人との出会いへの感謝」

校長 中熊 豊仁

「今日は10周走りました。」

「お話に来ました。入ってもいいですか。」

朝、休み時間、昼休みと、いろいろな子が校長室へやってきます。先日は、ピアノを習っている子たちに誘われ、音楽室や体育館で演奏を聴かせてもらいました。最初は少し照れた様子を見せながらも、真剣な表情で鍵盤に指をのせ、美しいメロディを奏でてくれました。「この曲を弾けるようになりたい。」という自分の目標に向かって日頃から懸命に練習に励んでいる姿が想像できました。

「ちょっと、相談があります。今、いいですか。」

一方で、悩み事相談もあります。中には、友だちとうまくいっていないから、どうしたらよいかという相談もあります。基本的には話を聴き、共感し、一緒に考えるようにしています。いじめが疑われる場合を除き、私から、こうした方がよいか、こうしなければいけないというようなことを言うことはありません。そのような悩みをもつことは、誰もが通る道です。その子が自分で考え、時にはうまく解決し、時には折り合いをつけられるような力を身に付けることが、社会で生きていくためには必要なことだと思うからです。何でも大人が手を貸してしまうことは、子どもの成長の機会を奪うことにもなります。子どもたちは、失敗を重ねながら、人との関わり方についても学んでいます。

毎日いろいろなことがあります。日によって、時期によって、子どもたちの姿は変わります。そんな時、どんなふうに関わるといいかなあと考えることを楽しむようにしています。ただ、やっぱり大切なのは、夢なり目標なりをもって、毎日を過ごしているかということだと思います。夢や目標に向かうということは、自分で考え判断しようとする、自らの心の主としての「自分」が心の中にあるということだと思うからです。そのようなことを考える中で、キャリア教育の一環として11月、5・6年生を中心に次の3名の方に講話をしていただきました。

- 岡澤 セオン さん ボクサー（東京・パリオリンピック出場）
- 田上 裕 さん 元サッカー選手（鹿児島ユナイテッドFC応援リーダー）
- 岩崎 弘志 さん アナウンサー（MBC南日本放送）

3名の方のお話に通じていたキーワードは、「夢や目標をもつことの強さ」と、「人との出会いへの感謝」でした。3名の方はそれぞれ、もともと、とがっていたり、いじめられたり、シャイだったりしたそうです。でも、それぞれの夢に触れるきっかけがあり、その夢を大好きになり、苦しいことがあっても、自分にできることを考えて努力したということ、そして、夢を追いかける中で、家族をはじめとした多くの方々を支えてもらったこと、そのおかげで今の自分があるのだということをお話してくださいました。



岩崎アナウンサーの話は全校児童で聴きましたが、「夢や目標がありますか。」という岩崎アナの問いかけに、多くの子どもが「はい。」と元気よく手を挙げました。遠い先の夢ではなくても、何か目標をもつこと、それに向けて努力することが大切であることを講師の方々も熱く語ってくださいました。「心の中にひびいたことは、『あきらめずに強く願ひ、努力すれば、必ず夢は叶う。』ということでした。」6年生の子どもたちの感想です。子どもたちにはしっかりと伝わったことと思います。

日々、成功も失敗も、いろいろな経験をしながら成長している子どもたち。人とのつながりについても学びながら、夢や目標に向かって進んでいるようです。

「記録達成に向けて〇周多く走りました。」「次は、〇〇という曲を弾けるようにします。」

「悩み、今のところ解決しました。」

夢や目標に向かう経験に無駄など一つもなく、成長の糧になっていることと思います。